

耐火 Q-05

耐火工法

外周部鉄骨梁

外壁材

耐火性能を要求される建物外周部の鉄骨梁に対して、外壁材とデッキ合成スラブの組み合わせで耐火工法とする方法を教えてください。

耐火 A-05

外壁先付け等、施工工程上鉄骨梁に直接耐火被覆材を施すことが困難な部分に対して、鉄骨梁の周りを耐火性能のある外壁材と床材とで囲った複合耐火工法が用いられることがあります。この場合、床版にデッキ合成スラブを用いることはできます。

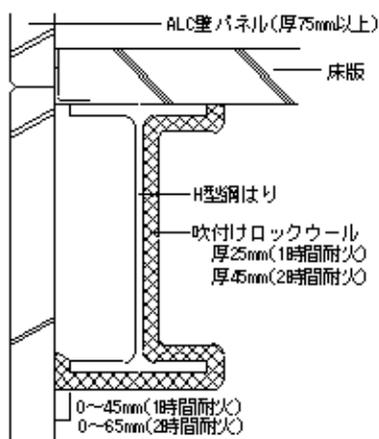
複合耐火工法としていくつかの工法が耐火構造の認定になっていますが、認定の中の RC スラブをデッキ合成スラブに置き換え、RC スラブと同様な取り扱いができます。

《納まり例》

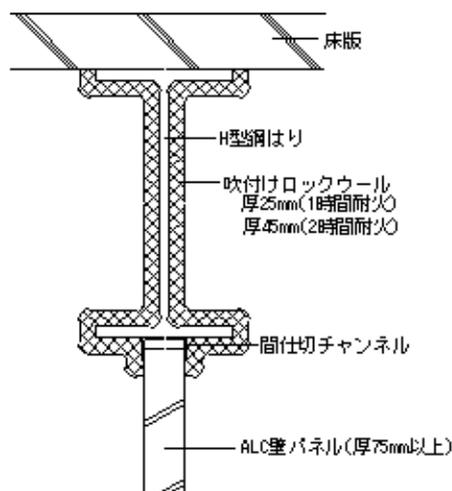
■ A L C 壁パネル・吹付ロックウール合成被覆鉄骨はり

F P 0 6 0 B M - 9 4 0 6、F P 0 6 0 B M - 9 3 5 6 (1 時間耐火)

F P 1 2 0 B M - 9 4 0 9、F P 1 2 0 B M - 9 3 5 7 (2 時間耐火)



断面図 1 下地構成を必要としない場合



断面図 2 間仕切壁付きの場合

(注) A L C パネルの構造様式は、「A L C パネル構造設計指針」(監修：(国研) 建築研究所) による。

その他に A L C 合成被覆／鉄骨はりの耐火構造には次の認定があります。

■ A L C パネル／繊維混入ケイ酸カルシウム耐火被覆板 1 (2) 号合成被覆／鉄骨はり

F P 0 6 0 B M - 9 3 6 2 (F P 0 6 0 B M - 9 3 6 2)

F P 1 2 0 B M - 9 3 6 3 (F P 1 2 0 B M - 9 3 6 5)

■ A L C パネル／A L C 耐火被覆板合成被覆／鉄骨はり

F P 1 2 0 B M - 9 3 5 5